



環境再生保全機構理事長賞 受賞

熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト

養豚業のゼロエミッション #産業廃棄物に輝きを！

環境再生保全機構公式動画チャンネル
第9回全国ユース環境活動発表大会



発表の
動画は
こちら



1年生 椿 雪葉さん 2年生 北岡 芽衣さん 3年生 原田 里佳子さん

交流を広げていく機会にもなるので良いことばかりです！

Q 第9回大会で環境再生保全機構理事長賞を受賞したプロジェクトのお話をお聞かせください。

学校で飼育する豚を食品廃棄物を使って育てるエコフィードに取り組んでいるのですが、豚を加工した際に出る脂を廃棄している現状がありました。食肉に加工する過程で、脂が厚過ぎる場合は、消費者の嗜好に合わせて削いでしまいます。その部分が廃棄されていることを先輩方から教わったり、食肉流通センターを見学したりして知りました。

このような状況の中、養豚業のゼロエミッションを目指し、豚脂を使用した石けんを製造し販売しています。私が1年生の時に先輩方から引き継いだ活動ですが、継続して活動することはとても大事なことだと感じています。

Q 交流会に参加してみた感想はいかがですか？

交流会は自分の意見を発言する機会でもあり、とても刺激になりました。今まで知らなかったことを知って、たくさんの新たな発見がありました。他校との交流を通して視野が広がりました。

特に、私たちの活動を同世代の高校生から客観的に評価していただける点が良かったです。大人の方からアドバイスをいただく機会がありますが、高校生の意見を聞く機会は少ないので、とても参考になります。年が近いと、ライバル心を持つことも！

この大会を通じて得られた他校の参加者とのつながりは、高校を卒業して終わりというものではなく、卒業後も続けていけたらと思っています。

Q 大会に出場して印象的だったことを教えてください。

水車の研究をしているチームが特許を取得したという発表を聞き、自分たちの活動分野と異なる未知な分野にも関心を持つことができました。

大会に出場することで、工業、農業、食品といった様々な分野の話を聞くことができます。「環境」をキーワードに、全国各地の高校生が多様なフィールドで活躍していることがわかり、とても勇気づけられました。

生徒たちだけでなく教員の意識も大きく変わりました。

はじめは、生徒が取り組んでいる活動を何らかの形で評価していただきたいという考えでした。私たちの活動はどれだけ環境に貢献しているのか、専門家の方から見たらどういった評価を受けるのだろうかと思い、大会に出場しました。

大会に参加して他校の取り組みや講評を聞く中で、環境に対しての取り組みは今後、畜産だけではなく、漁業、林業、食品業のほか、あらゆる分野に必要であることに気がきました。こういった課題観を発見できたことで、生徒だけでなく私の意識も大きく変わりました。実際に、コオロギの食用化を研究している学校へ、その活動を家畜に応用できないか相談させていただきました。この大会への出場を契機に、新たな取り組みを始めたいと考えています。

教員にとっても多くの学び、気づきに出会える機会、今後生徒に還元できるものが得られたと感じています。生徒の成長はもちろんですが、教員である私自身も視野や活動の幅が広がっていくところに、この大会の魅力を感じています。



熊本県立熊本農業高等学校の主な活動テーマ

- エコフィード開発による飼料費の削減
- エコフィードのマッチングサイト開発
- 豚脂を活用した石鹸の開発



学校の敷地内にある養豚場



完成した豚脂せっけん
シンデレラネオの輝き



顧問 松本先生